

まつしの「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」
(フィデューシャリー・デューティー)

二本松信用金庫

二本松信用金庫は、お客さまとの信頼関係を大切にし、地域金融機関として親しまれる“まつしん”をめざし、お客さまの資産の形成および資産の運用の業務において、お客さまのニーズに適切にお応えしお客さまの満足度が一層向上するよう「お客さま本位の業務運営に関する基本方針(フィデューシャリー・デューティー)」を制定いたしました。

本基本方針は定期的に見直しを行うとともに、本基本方針のもと、全役職員はお客さま本位の業務運営に取り組んでまいります。(原則1)

1. 「お客さまの最善の利益の追求」(原則2)

高い専門性と職業倫理をもって、お客さま一人ひとりの様々なニーズに適切にお応えすることにより、お客さまにとって最善の利益を追求いたします。

2. 「利益相反の適切な管理」(原則3)

お客さまのお取引において、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反の管理を徹底いたします。また、利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、別に定める「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理を行ってまいります。

3. 「手数料等の明確化」(原則4)

金融商品・サービスの提供にあたり、お客さまにご負担いただく手数料やその他の費用(以下、手数料等)について透明性を高め、手数料等の内容を、適切な資料等を用いてわかりやすく説明し、お客さまが正しく投資判断を行えるような手数料等の開示に努めます。

4. 「重要な情報のわかりやすい提供」(原則5)

当金庫は、金融商品・サービスのご提供にあたり、ご提案する金融商品・サービスのリスク、取引条件、選択・推奨理由等の重要な情報について、適切な資料等を用いて分かりやすい表現により、お客さまの立場に立った丁寧な説明に努めます。

5. 「お客さまにふさわしいサービスの提供」(原則6)

当金庫は、金融商品・サービスのご提供にあたり、お客さまの資産の状況、お取引経験、金融知識、お取引の目的を正確に把握し、お客さまにふさわしい金融商品・サービスをご提案するよう努めます。また、金融商品・サービスをご契約いただいたお客さまには、経済環境や市場動向を踏まえた適切でタイムリーな情報提供により、丁寧なアフターフォローを行います。

6. 「職員に対する適切な動機づけの仕組み」(原則7)

職員一人ひとりが、お客さまの最善の利益を追求する営業活動を職場に定着させるために、研修の実施や資格取得の奨励等を通じて、全役職員へ「お客さま本位」の考え方を浸透させるとともに、専門知識やスキルの向上に取り組んでまいります。

この基本方針のもと、より良いお客さま本位の業務運営を実現するため、今後、その取り組み状況や成果を定期的に確認し公表するとともに、改善を図って参ります。